

会議名	第2回 第2分科会（健康、福祉分野）
日時	平成21年10月23日（金） 13時30分～16時00分
場所	江南市市民体育会館 2階 大会議室
出席者	市民委員 平松宏幸、小椋雅江、伊藤倫子、沓名珠子、福田正義、渡部敬俊
	市職員 長谷川雅洋、滝正直、平松博次、箕浦規師、江口勲
議題	1. 今年度のまちづくり会議について 2. 市職員の紹介 3. 平成20年度施策評価結果について 4. 第3回以降のまちづくり会議（分野別会議）日程について 5. その他
資料	1. 江南市まちづくり会議委員名簿（資料1） 2. 施策評価について（資料2） 3. まちづくり会議のスケジュール（資料3） 4. 平成20年度施策評価の結果【Ⅱ健康、福祉分野】

◆ 会議結果 ◆

1. 今年度のまちづくり会議について

- ・ 施策評価の概要とまちづくり会議のスケジュールについて、経営企画部長より説明がありました。

2. 市職員の紹介

- ・ 人事異動により変更があった市職員の委員について、事務局より紹介がありました。

3. 平成20年度施策評価結果について

- ・ 施策評価結果の表の見方について事務局から説明がありました。
- ・ 平成20年度施策評価の結果について、担当課長から説明がありました。各施策評価結果に対する意見等は次のとおりです。

〔柱1〕 施策「介護保険サービスの提供、介護保険事業の適正運営」

- ・ 成果の状況を表す指標（高齢者人口に占める要介護者の割合）の達成状況が、目標値より実績値が低くなっていることで「悪い」となっているが、要介護者の割合が低くなれば、達成状況は「良い」となるのではないかとの意見があり、今回の達成状況の判断基準では、実績値が目標値に達していないと「悪い」と判断されるとの説明がありました。
- ・ 要介護者の数は、要件の見直しにより減っているのか、実際数が減っているのか実績値だけではわからないので、実績値が目標値に達していないからといって一概に「悪い」とは言えない。要件の見直しにより減っているのであれば、目標値も見直す必要があるのでは、達成状況の判断基準を検討してほしいとの意見があり、介護認定調査と介護認定審査は、国が基準を示して全国統一的に行っているが、介護認定調査については、今年の4月から見直しがされ、さらに10月から見直しがされたとの説明がありました。
- ・ 介護予防は、行政だけではなく、市民も自ら行動を起こすことが必要であるとの意見がありました。

社会福祉協議会で行っている「ふれあい・いきいきサロン」の数が増えており、ある程度の参加者があるものの、まだまだ積極的な参加が少ないので、地域で誘って多くの人に参加できるようにするにはどうしたら良いかとの意見がありました。

- ・地域の中で集まることができる場所が必要であり、そうした場所を設けて、小さな活動から大きな活動へと広げていくことが必要である。また、改めて開催するような催しではなく、いつでも常に気軽に行ける場を設けるべきであるとの意見があり、学校の空き教室を利用して行ったらどうかとの提案がありましたが、公的施設では、利用方法に制約があるとの意見がありました。
- ・行政の支援に頼るのではなく、市民が自己責任において行うことが重要であり、市民として物事を考え、場合によっては行政に相談するといった形になることが望ましいとの意見がありました。
- ・市民の役割について、何か良い方法があれば、次回までに考えてくることとなりました。

〔柱1〕施策「在宅高齢者施策の推進」

- ・在宅高齢者施策について、市民からの要望はないかとの質問があり、給食サービスのメニューなど様々な苦情があるとの説明がありました。
- ・台風18号の際の避難について、どのように行われたのかとの質問があり、災害時要支援者に対し避難所が開設される旨を民生委員を通じて連絡したとの説明がありました。
- ・支援が必要な人の把握をどのようにしているかとの質問があり、民生委員の日頃の活動の中で把握しているとの説明がありました。

〔柱1〕施策「高齢者生きがいがづくりの推進」

- ・「シルバー人材センターは、職種を増やす。」という市民の役割があるが、現在のシルバー人材センターの職種では、樹木選定は非常に忙しいが他の職種は仕事がない状態と聞いている。また、駐輪場の整理も、経費節減の関係で一番混み合う時間帯が実施されていないなど、実施内容も考えてほしいとの意見があり、新たな職種の開拓努力をしているが、一方で、民間企業からの仕事が派遣切りや偽装請負の関係で減ってきており、今は過渡期であるとの説明がありました。
- ・他市では、「出張洗車業務」が非常に好評であると聞いている。市民の役割として、シルバー人材センターの仕事を増やすことができるよう、そうした情報提供をしていくことが必要であるとの意見がありました。

〔柱2〕施策「働きながら子育てする家庭への保育・育児支援」

- ・学童保育受入待機児童が7人いるが、その対策はどのようになっているかとの質問があり、待機児童は門弟山小学校下で、現在空き教室がないため、体育館の管理室で実施している状況である。門弟山小学校下には、公民館等の公共施設がないことがその要因であるが、母子家庭など困っている家庭の児童を優先的に受け入れるなどの配慮をして行っているとの説明がありました。
- ・学童保育を体育館の競技場で実施できないかとの質問があり、学童保育は、基準に合った整備をした場所でないとは実施できないとの説明がありました。
- ・次世代育成支援行動計画の策定は進んでいるかとの質問があり、現在、素案まで出来ているとの説明がありました。
- ・保育園の指定管理者によるサービスに対する保護者の満足度はどうかとの質問があり、当初は、保護者との意思疎通がうまくいっておらず、保護者の誤解もあったが、3回の話し合いの場を設けた結果、最近では理解が得られてきているとの説明がありました。

〔柱2〕施策「子育て不安の解消」

- ・最近の児童虐待は、家庭だけでは済まないむずかしい問題であるとの意見があり、次回までに市民ができる取り組みについて考えてくることとなりました。
- ・子育て支援センターの利用者を行政がもっとPRして増やしていくと良いとの意見がありました。
- ・子育て支援センターの駐車場が少ないので、行っても止める場所がなく帰る人が多いとの意見があり、周辺に空地がないため、駐車場の拡張ができないとの説明がありましたが、周辺の愛知県施設の跡地を活用できないかとの意見がありました。

〔柱2〕施策「遊びを通じた楽しく豊かな子育ての実現」

- ・江南市子ども会連合会から脱退する団体が多いので、江南市子ども会連合会の活動をもっと活発にし、市民もそうした活動に積極的に参加する必要があるとの意見がありました。

〔柱2〕施策「子育てに困っている家庭への経済面等の支援」

- ・成果の状況を表す指標（母子家庭が自立するための就労への教育支援件数）の達成状況が、目標値より実績値が低くなっていることで「悪い」となっているが、支援件数が少なくなれば、達成状況は「良い」となるのではないかと、達成状況の判断はこれで良いかとの意見がありました。

4. 第3回以降のまちづくり会議（分野別会議）日程について

- ・第3回の会議の開催日時を決定しました。
第3回まちづくり会議（健康、福祉分野）
開催日時：平成21年10月29日（木）午後1時30分～

5. その他

- ・平松宏幸会長、小椋雅江副会長、長谷川雅洋高齢者生きがい課長に、11月中旬開催予定の第2回まちづくり会議（全体会議）への出席のお願いが事務局からありました。